

誠

発行: ののうち誠後援会
〒699-0108 松江市東出雲町出雲郷1670
電話・FAX 0852-52-3117
Eメール nonouchi@mable.ne.jp

ブログで日々の活動を紹介しています。フェイスブックもやっています。
<http://www.mable.ne.jp/~nonouchi/>

後援会だより—January

発行日:2019年1月28日

ののうち
まこと VOL
30

おかげさまで 後援会だより30号です

年4回発行している後援会だよりは、今号で30号を発行させていただきました。時おり読んでいるよと声を掛けていただきますが、とてもうれしいです。限られた紙面ですが、今後も研鑽を重ねて発行していきたいと思っています。

さて今年は、4月には県知事・県議会議員選挙、7月には参議院議員選挙があります。そして、5月には新しい天皇のもと新しい年号が始まりますし、新年号の初めての祭典として松江城山稻荷神社式年神幸祭(通称・ホーランエンヤ)も開催されます。また、消費税が10月には10%に改定予定です。

松江市に目を転ずれば、人口減少対策や地域活性化、産業振興などの課題が山積しています。

野々内は、今年も一生涯懸念課題に向き合っていくと考えています。引き続きのご支援やご協力を賜りますようお願い申し上げます。

学校の空調整備の
補正予算などを可決

11月松江市議会

11月定例松江市議会は、11月28日から12月18日までの21日間の会期で開会

されました。今議会は、イングリッシュガーデンの売却事業や小泉八雲旧居の取得などの事業、市立幼・小中学校の空調整備事業などの補正予算などが提案され、原案通り議決しました。陳情1件は不採択となりました。

議員提出議案では、松政クラブが提案し議会運営委員会総意で提出した意見書など3件は全員賛成で議決しました。

(予算金額や提出議案の詳細は市ホームページや市報をご覧ください)

最近の活動から

神幸祭の準備が始まっています

松江城山稻荷神社式年神幸祭、通称「ホーランエンヤ」は、本年の5月に開催されます。五大地の皆さんはもとより、野々内の地元、市向地区(祭りの際には一向となる)でもその準備が始まっています。お迎えする阿太加夜神社氏子として神輿船を曳航する名誉を担い、今回は9隻で参加者全員が松江大橋まで行く計画です。



宝珠の塗替えなどの作業

研修フォーラムなどで勉強しています

11月14日から3日間、栃木県宇都宮市で開催の「第13回全国市議会議員研究フォーラム」に参加しました。講演やパネルディスカッションは、共通した課題が多く、非常に参考になります。機会を見つけて同様な研修会に参加をすることにしていきます。



宇都宮市での研究フォーラム会場

この、全国市議会議員研究フォーラム、松江市は2021年度に誘致が内定しています。

新幹線に関する研修会

12月25日に、くにびきメッセで「新幹線に関する研修会」が開かれました。主催は、(仮称)「中国横断新幹線(伯備新幹線)中海・宍道湖・大山園域整備促進会議」設立準備会です。

本年には基本計画路線の11路線のうち、整備計画路線の検討が進む見込みです。なんとしても悲願である「中国横断新幹線(伯備新幹線)」が選ばれ、事業化に進むよう取り組まなければなりません。「山陰新幹線・中国横断新幹線整備促進松江市議会議員連盟」でも幹事長として、全力で取り組んでいきたいと思っています。



新幹線事業化を研修

意宇川の危険箇所調査

意宇川の度重なる洪水は、頭工の災害発生など流域の住民にとって脅威となっています。そこで、今後の河川管理や農業用施設管理に役立てようと、1月21日に地元関係者や島根県・松江市の関係部署の皆さんと危険箇所を調査しました。流域7箇所を点検調査し意見交換を行いました。



意宇川の危険箇所を調査

後援会のお知らせ

ののうち誠後援会にご加入いただき、一緒にまちづくりをしていきましょう。この度後援会だよりvol.30を発行いたしましたので、ご覧いただけますようお願い申し上げます。

ののうち誠 プロフィール

昭和25年生まれ(現在68歳)出雲郷小学校→東出雲中学校→島根県立松江農林高校→東出雲町役場就職(平成23年3月に町参事を最後に退職)→平成23年8月松江市議会初当選、平成25年4月2期目当選 平成29年4月3期目当選

ホームページ、
ブログはこちら



◆後援会事務局◆

〒699-0108 松江市東出雲町出雲郷11670
TEL・FAX / 0852-52-3117
Eメール nonouchi@mable.ne.jp
<http://www.mable.ne.jp/~nonouchi/>

一般質問

12月4日、野々内は連続29回
目の一般質問を行いました。質問
は、一問一答で行いました。
(一般質問とこの回答の全文はホームペ
ジのブログで紹介しています)

Q 共創・協働の 取り組みについて

① 共創・協働における個人
情報保護について

個人情報保護は大切ですが、個人
情報であれば何でも保護するは誤
解です。共創・協働には個人情報保
護法を正しく理解し、管理・運営の
体制づくりを促す必要があります。
市の共創のまちづくり推進本部
主催の研修会講師の川北秀人氏
は「行政では「地域団体のための個
人情報の取り扱いに関する手引き」
の策定、「福祉 備災カード」など地
域運営組織としての住民台帳づく
りを促すことを言っておられます。
本市の状況と取り組みを伺います。
松延市民部長 個人情報情報の取
扱に関する手引きは、個人情報法の取



得、管理のルールなどを示した町内
会・自治会向け個人情報取扱引き手
引きを策定して、ホームページ公開
や、地域団体等で活用しています。

住民台帳づくりは、本市の避難行
動要支援者約2万5千人に対して
名簿情報提供の同意確認書を送付
して約1万4000人に同意をいた
だいています。そのうち約4,700
人には、避難支援関係者の団体と個人
情報保護に関係する協定を結ん
だ上で、同意者名簿を渡し、地域で
の個人ごとの個別計画、名簿の作成
に役立てていただいています。今後、
残り5,700名の同意者にも、地
域での個別計画等の作成が進むよ
うに取り組みたいと思っています。

② 住民自治組織の確立と地
域との協働のための町内会
組織への助成事業を増やす
ことについて

「自分たちが決めて自分たちが

担う」ために、住民自治組織の確立
と地域との協働が必要です。地域
組織では行政機能の集約化を補い、
住民減少・高齢化などに伴い必要
性が高まる安心・安全の確保のため
の地域づくりを市と共に進めな
ければなりません。また、共通の「基
本機能」と独自の「魅力づくり」も
進める必要もあります。本市の現
状と今後の進め方を伺います。

自治会・町内会などは、小規模多

機能「自治」を進めるためには資金が
必要ですが、行政機能を補う活動を
進めるので、応分の助成が求めら
れます。本市の考え方を伺います。
松浦市長 共創・共働のまちづくり
を進める組織として、自主防災組織
配慮が必要な方に平常時から支援
活動を行う要配慮者支援組織を立
ち上げています。自主防災組織の結
成率は71.3%、要配慮者支援組織
は現在17.5組織で、世帯のカバー率
が28.3%です。既存の組
織を柔軟に
活用していき
たいと思っ
ています。
住民福祉
等を増進す
る取り組みは



地域の奉仕作業も共創・協働の活動です

が出払った場合の対処の考えを伺
います。

菅井消防長 消防団の防水体制は、
災害通知メールにより全ての団員に
準備情報を出し、出動命令は災
害が発生した場合に管轄方面団長
等に対し直接行っています。松江市
水防計画によって情報共有を図り、
水防訓練は、毎年1回以上実施し
ています。

矢野防災安全部次長 土のうの準備
は、意宇川沿いの倉庫には年度当
初約450袋・支所には約60袋配置、
大草水防倉庫には、土のう用真砂土
を一定量準備しています。また、民
間企業にも協力していただきます。

② 河川の立木などの撤去に ついて

河川の立木などで洪水が滞留し
氾濫の危険を流域住民は感じてい
ます。意宇川や須田川、意東川の下
流域など、
流域住民の
不安を解消
するための
立木などの
撤去の考え
方について
伺います。



9月30日夕方の増水した意宇川

何かの支援が必要で、要配慮者支援
組織には設立時と毎年の運営に対
し補助を行っています。単年度補助で
は、松江市共創のまちづくり事業補
助金も設けています。そのほかにも
地域組織への助成事業は複数あるの
で、もう一度横並びをして今後の支
援の形を検討したいと思います。

Q 犬、猫対策について

① 動物の愛護と動物の適切
な管理について

松江市が中核市となり保健所
が県と共同設置となり、市民の皆
さんの身近な動物愛護や犬猫に
関する事務は、松江市の仕事にな
りました。

本市には、犬猫についての複数
のボランティアグループが保健所
と連携する活動を行っています
が、様々な課題があることを聞き
ました。本市における基本的な犬
猫対策について、まず伺います。
動物の愛護について、野犬や捨て
猫の状況について伺います。不明犬
について市のホームページで写真・
動画などで公開してはどうです
か。不明犬防止のためのマイク口
チップの状況は進んでいますか。

安達都市整備部長 県管理河川は、
県知事に対し浸水被害の軽減のため
の対策を重点要望したところで
す。要望に対し知事からは、意宇川
の堆積土砂については市とよく相談
の上、治水上必要となる箇所は優
先度を踏まえ掘削を行うとの回答
でした。

2月定例議会予定

- 2月 22日 金 本会議(会期の決定、提案説明)
- 28日 木 一般質問
- 3月 1日 金 一般質問
- 4日 月 一般質問・議案質疑・委員会付託
- 5日 火 予算委員会
(質疑・分科会付託)
- 6日 水 7日 木 総務委員会・
予算委員会総務分科会
- 8日 金 11日 月 教育民生委員会・
予算委員会教育民生分科会
- 12日 火 経済委員会・
予算委員会経済分科会
- 13日 水 経済委員会
経済分科会
- 14日 木 15日 金 建設環境委員会・
予算委員会建設環境分科会
- 20日 水 予算委員会
(分科会報告・質疑・討論採決)
- 26日 火 本会議
(委員長報告・質疑・討論採決)
- 閉会

また、犬猫の譲渡の状況はボラ
ンティア頼みになっていないか、現
状と対策を伺います。動物の適切
な管理として、みだりに繁殖する
ことを防止するための不妊去勢
手術の状況、近所の野良猫に餌を
やらないことの周知と徹底の状
況を伺います。

小塚健康部長 基本的に動物愛護
思想の普及啓発と動物がその命を
終えるまで適切に飼育されている
終生飼養や、動物の鳴き声・ふん尿
等による迷惑防止などの動物管理の
徹底を図るための施策に取り組ん
でいます。
また、捕獲した犬等は新しい飼い
主への譲渡を行い、処分される不幸
な命を減らす取り組みを行ってい
ます。平成30年4月から9月まで
に所有者不明で収容した犬は61
頭、猫は65匹。不明犬は捕獲情報
を保健所等で公示・特徴や写真を
ホームページや新聞に掲載して、飼
い主への返還や新しい飼い主を探
す取り組みの
充実を図って
います。

マイク口チ
ップ登録数は、
県内全体で1
割に満たない



松江保健所収容の野犬の子犬

状況です。犬猫の譲渡は平成30年4
月から9月までの期間、犬54頭、猫
49匹です。現在、5団体及び個人の
ボランティアに保健所に収容した犬
猫の譲渡についての協力をいただい
ています。
市では保健所から譲渡した猫に対
し不妊去勢手術を条件とし、希望者
に対してはその費用の助成をしてお
り、現在24
件の希望が
あります。
餌やり苦情
には、注意
指導、チラシ
回覧を行っ
ています。



飼い主の施設入所のために保健所にきた
14歳の高齢猫

① 水防体制と土のうの準備
について

9月の台風24号襲来に伴う大雨
では、意宇川の出雲郷橋付近の観
測所では一時は、はん濫危険水位
の3.30mに達しました。急激に増
水するのが最近の特徴で、急激な
増水に対しての消防団の水防体制
について伺います。
水防倉庫の土のうの用意、在庫